

平成 29 年度

第 2 回 大槌町地域公共交通会議 議事録

日時 平成 30 年 2 月 27 日(火)午後 1 時 30 分から

場所 大槌町役場 3 階大会議室

平成 29 年度 第 2 回大槌町地域公共交通会議

日時:平成 30 年 2 月 27 日 13:30~15:30

場所:大槌町役場 3 階大会議室

次 第

1. 開会
2. あいさつ
3. 出席者紹介
4. 協議事項
 - (1) 協議第 1 号 臨時バスの経路等の変更について・・・・・・・・・・資料 1
5. 報告事項
 - (1) 報告第 1 号 路線バスの再編スケジュール等について・・・・・・・・資料 2・3
 - (2) 報告第 2 号 大槌駅関連事業の進捗状況について・・・・・・・・資料 4
6. その他
7. 閉会

出席者（敬称略）

出席委員

会長	大槌町副町長	澤 舘 和 彦
副会長	大槌町行政連絡員協議会会長	菊 池 成 子
委員	岩手県交通株式会社乗合自動車部運行課長	宮 古 貴 博
	大槌地域振興株式会社代表取締役	澤 山 重 夫 (代理 取締役 倉本 栄一)
	岩手県タクシー協会釜石支部支部長	岩 崎 松 生
	社団法人岩手県バス協会事務局長	鈴 木 一 成
	岩手県交通労働組合釜石支部支部長	千 田 正 一 (代理 執行委員 藤井 知行)
	大槌商工会事務局長	村 田 仁
	国土交通省東北運輸局岩手運輸支局首席運輸企画専門官	伊 藤 誠
	国土交通省東北運輸局岩手運輸支局首席運輸企画専門官	佐 藤 雅 和
	岩手県沿岸広域振興局経営企画部企画推進課課長	大 坊 哲 央 (代理 主事 岡澤 駿)
	岩手県沿岸広域振興局土木部道路整備課長	野 崎 弥
	東日本旅客鉄道株式会社盛岡支社担当課長	柴 田 博 之
	三陸鉄道株式会社旅客サービス部部长	富 手 淳
	岩手県立大学総合政策学部講師	宇佐美 誠 史
	大槌町民生部コミュニティ総合支援室長	土 澤 智
	大槌町復興局環境整備課課長	遊 田 啓 悦

事務局

大槌町総合政策部部长	齋 藤 正 文
大槌町総合政策部総合政策課課長	藤 原 淳
大槌町総合政策部総合政策課班長	草 木 秀 二
大槌町総合政策部総合政策課主査	土 屋 昌 之
大槌町総合政策部総合政策課主事	松 橋 史 人

(13時30分開始)

【協議事項】

協議第1号 臨時バスの経路等の変更について

■伊藤委員

小枕地区に住んでいる人は仮設住宅から移った人ですか。それとも別の地区から来た人ですか。どういった方が住むのでしょうか。

■松橋主事

震災前に小枕や伸松地区に住んでいた人で、小枕団地ができるまでは仮設等に住んでいた方が、住宅再建をして住んでおります。

■宇佐美委員

今回、提案されたダイヤ改正については、住民と合意形成して決めたものですか？

■松橋主事

今回の経路変更については、小枕団地の自治会から要望があったもので、実際に利用される方や自治会長にヒアリングを行い、ダイヤを作成しました。

■富手委員

県立大槌病院から小枕団地へ向かう際に、その間にあるバス停には停車しないという事ですか。

■松橋主事

県立大槌病院と小枕団地の間にあるバス停に関しては、吉里吉里地区から県立大槌病院に向かう際、若しくは、県立大槌病院から吉里吉里地区に向かう際に停車することとなっておりますので、県立大槌病院と小枕団地間では停車しません。

現在のダイヤに支障が出ないように検討した結果、本案が適切と考え、このようなダイヤとさせていただきます。

■澤舘会長

よろしいですか。その他、皆様から何かございませんか。

それでは、議案第1号 臨時バスの経路等の変更について、原案のとおり、変更することに同意いただける方は、挙手をお願いします。

(委員全員挙手)

■澤舘会長

異議なしと認めますので、議案第1号については承認されたということで申請手続きを進めたいと思います。

ありがとうございました。

【報告事項】

報告第1号 路線バスの再編スケジュール等について

■岩崎委員

来年度は臨時バスの廃止が予定されていますが、私の会社で運行している吉里吉里線は、利用者が比較的多く、バスがいつまで続くのか気にしている方もたくさんいます。

利用者に迷惑がかからないよう、早めの周知をお願いします。

■土屋主査

仮設住宅の集約状況を注視し、2か月前を目途に廃止の判断を行いたいと考えております。

廃止時期が決まりましたら、しっかりと周知していきます。

■宇佐美委員

プロジェクト13のマイバス運動について、他の自治体でも計画の策定にあたってワークショップなどを開催しますが、計画を作って終わりというケースが多いように思います。

住民の方への働きかけとして、ワークショップで利用促進の取組を一緒に企画して、そのメンバーで実際にやってみるといったのも良いのではないのでしょうか。

研究室の学生を参加させるなど、お手伝いすることもできます。

■土屋主査

ありがとうございます。

具体的なところはまだ白紙ですが、今後検討させていただきます。

■藤井委員

赤浜線の経路変更の理由は、高台移転の防集団地でしょうか？

■土屋主査

東大海洋研裏団地という新しい防集団地を経由するものです。

■藤井委員

防集団地の計画戸数はどのくらいでしょうか？

■土屋主査

赤浜地区の防集団地の計画戸数については、東大海洋研裏団地だけですと32戸、赤浜地区全体ですと84戸になります。

■伊藤委員

「(仮称)三陸防災復興博」というのは、町の主催ですか？

■斎藤部長

三陸防災復興博につきましては、岩手県が音頭を取って進めているもので、三陸沿岸全域を会場とし、各市町村で様々なイベントが開催される予定です。

■伊藤委員

大槌町以外でもイベントをやるのであれば、できるだけ目立つようにやった方が良いと思います。

広報についても、経路変更告知や再編告知と記載がありますが、広報紙に挟んで周知は終わ

りというパターンが多いので、ぜひ色々と工夫してほしいです。

■土屋主査

皆様にもご意見をいただきながら、考えていきたいと思えます。

報告第2号 大槌駅関連事業の進捗状況について

■富手委員

山田線の移管に向け、利用促進に取り組んでいただきありがとうございます。

開業サポーターとの意見交換会など、声を掛けていただければ、三陸鉄道の社員が同席して色々お話することもできますので、ご検討ください。

ちなみに、駅舎にひょっこりひょうたん島のキャラクターを活用との話がありましたが、実際にどの程度まで話が進んでいるのでしょうか？

■土屋主査

権利者のNHKと協議してまいりましたが、権利関係についてはほぼ話がついた状況です。今後は、活用方法について具体化を進めてまいります。

■澤舘会長

その他、何かございますか。

■伊藤委員

運輸支局として、色々な市町村の公共交通会議に委員として出席していますが、中には時間が長い割に内容が分りにくい会議もあります。それに比べ、大槌は資料も簡潔でわかりやすいと感じましたので、自信を持って進めていただきたいと思います。

■澤舘会長

それでは、本日は、御出席いただきありがとうございます。

当町の地域公共交通にとって、来年度と再来年度は、鉄道の運行再開をはじめ、町民バスの大規模再編など、復旧・復興から日常への大きな節目の年となります。

持続可能で利便性の高い地域公共交通の実現に向け、関係機関・団体の皆様におかれましては、引き続きご協力のほど、よろしくお願いいたします。

■藤原課長

それでは以上をもちまして、平成29年度第2回大槌町地域公共交通会議を終了させていただきます。お疲れさまでございました。

(14:30分終了)